

令和5年度西予市市政懇談会 会議事録(要旨)

開催日時 令和5年10月16日(月) 19:00~:20:36
開催場所 明浜支所
出席者 参加者 35人 市側 12人 市長 管家一夫、副市長 酒井信也、教育長 松川伸二 総務部長 山住哲司、政策企画部長 宇都宮明彦 生活福祉部長(兼)福祉事務所長 一井健二、産業部長 和氣岩男 建設部長(併)水道事業担当(公営企業)三瀬計浩、医療介護部長 浅野幸彦 明浜支所長 池田いずみ、教育部長 谷口佳代、消防本部消防長 宇都宮憲治 事務局他 5人
議事内容(要旨) 1 開会 2 市長あいさつ 3 懇談会のテーマ (1)組織再編について(総務部) (2)人口減少対策について(政策企画部) (3)市立病院、つくし苑の経営改革について(医療介護部) (4)その他(意見交換) 事前質問:平成30年7月豪雨災害の復旧工事 (意見等) 平成30年7月豪雨災害によって、狩江地区の河川も多数の被害を受けた。5年経過した今も、全く手をつけられていない場所がある。復旧工事の早期始動をお願いしたい。 (回答:建設部長) 平成30年7月豪雨災害の災害復旧工事については、国庫補助による復旧事業は令和4年度末に完了した。しかし、河川については把握ができていない箇所もあるが、狩江地区分については現地確認済。今後、限られた予算の中で順次復旧していきます。 (意見等) 具体的な計画を立てて教えてほしい。 (回答:建設部長) まだ具体的な計画はないが、県などの関係機関とも連携しながら、できるだけ早期に復旧したい。 事前質問:高校通学に関する交通費補助金 (意見等) 市内高校にバス通学をする生徒に定期代の2分の1補助する制度があるが、市外の高校に通う生徒への補助はない。補助を拡充いただきたい。 (回答:教育部長)

近年、市内中学生の地元高校への進学率が低く、宇和高校、野村高校とも、入学者の定員割れが続いている状態。通学補助については、地元高校への進学促進を図る手段の1つとして、今年度から設けたもの。市外高校への進学補助については現在想定していない。

事前質問:旧明浜西中学校体育館の修繕
(意見等)

旧明浜西中学校体育館は照明や二階フロア、トイレなどの修繕が必要な箇所がある。宮野浦地区の避難場所にもなっているため、改修をお願いしたい。

(回答:政策企画部長)

昨年8月に公共施設マネジメント市民会議を開催した際に、近隣にあり、安全に使用できる高山地区体育館があるため、利用実態を調査して、方向性を決定するとしている。明浜西体育館の利用実績は低く、高山地区体育館と統合しても差し支えないと判断している。そのため、要望のあった箇所の改修予定はない。今後の避難所の在り方については、西予市公共施設等総合計画に定めており、原則、現状を維持していくが、今後、老朽化に伴う改修が必要となった場合は廃止を検討する。

事前質問:市道大早津東水源池線の開設工事
(意見等)

10年前から始まった市道大早津東水源池線の開設工事が進んでいないように思う。本当に開設する予定で動いていますか。農道や林道としての整備も含めて早期に開設してほしい。

(回答:建設部長)

市道大早津東水源池線の開設工事については、用地問題の解決に至らず、現在は事業休止状態となっている。農道、林道事業での整備も検討したが、実施要件や受益者負担金等を踏まえて実施は困難だと考えている。

しかし、今後予想される南海トラフ巨大地震の被害を最小限にとどめるため、避難路、緊急時の物資輸送等の道路整備は、明浜町全体の重要な課題ととらえている。現ルートでの用地問題の解決や別ルートでの検討も含め、課題を解決していきたい。

事前質問:国道378号線の道路拡張工事
(意見等)

国道378号線の拡張工事は以前から要望している。大早津までの拡張工事は、実施予定のようだが、他の1車線や離合が難しい箇所の拡張もお願いしたい。観光客の利用などを見据えても、拡張工事は必要。

(回答:建設部長)

国道378号線は、住民の日常生活や地域産業を支える重要な交通基盤で、災害時の避難路としても重要な路線と考えている。市としても、国道378号(八幡浜・宇和島間)整備促進期成同盟会において、県知事や県議会に改良工事の早期完成などの要望を行っている。

事業実施主体の愛媛県では、高山地区の改良工事等、順次現道拡幅を進めている。未改良区間に関しても今後、順次事業化を検討していく予定。

事前質問:消防団活動夜警

(意見等)

年末の夜警については、支所に出張所があり、毎日のように防災無線放送や巡回アナウンスがされている。たき火や野焼きを夜中にする人も少ないので、夜警を廃止してほしい。

(回答:消防長)

夜警廃止に関する意見は、他からも出ている。今後、消防幹部会で検討していく。

事前質問:高山旧明浜支所跡の防風林

(意見等)

よいとこな広場の防風林は3年経っても成長せず、全く防風林の役目を果たしていない。管理が不十分なのは。

(回答:総務部長)

令和2年度にアラカシを植えたが、なかなか成長しない。業者にも相談したが、地盤が悪いため成長が遅いのではないかとのこと。今後も業者と相談しながら、成長を促していく。

事前質問:明浜支所の外部トイレ

(意見等)

明浜支所の西側トイレは、併設する体育館使用時には利用者が開錠することで利用できるが、それ以外るときは利用できない。当初はいつでも利用できるという話だったと思うが。

(回答:明浜支所長)

庁舎西側トイレは隣接する体育館内にトイレがないため、体育館利用者が使用できるようにしている。庁舎の建設段階では、外部からの常時の利用について構想もあったが、かぎの開け閉めや設備の管理、防犯等の観点から常時施錠としていて、公衆トイレとしての想定はしていない。緊急時や地域の屋外イベント等に関しては、柔軟に対応していく。

(意見等)

高山の地域づくりの中で、景観の調査や保存計画策定を行い、ガイド育成を目指している。そうなった場合の来訪者の利便性の確保のために、外部トイレの利用を検討いただきたい。

(回答:明浜支所長)

柔軟に対応していきたい。

事前質問:遊具について

(意見等)

高山地区内に子どもが遊べる遊具がない。どんぶり館横に大型自児童公園はできたが、高山に住む人が平日に利用するのは現実的ではない。周辺部にも遊具を設置してほしい。

(回答:福祉事務所長)

市では、子育て支援公園遊具設置計画を策定中。その計画では既存のものも含めて、地域づくり活動センターごとに1カ所ずつ遊具整備をすることとしている。今後5年程度かけて計画を進めていく。

(意見等)

地区内には既存の遊具もあるが老朽化していたり、不便な場所に設置されていたりして、気軽に使えないものもある。また27地区になると高山宮野浦地区で1か所ということになる。地区としては気軽に歩いていけるところに遊具を設置していただきたい。

(回答:福祉事務所長)

既存の遊具の安全確認を含め、一度現地に行き、設置場所も協議させていただきたい。ただ、今のところ27地区ごとに1カ所を原則とさせてもらっている。

事前質問:消防の市の責任について

(意見等)

法に基づき消防団の設置管理運営は市の責任。しかし、消防ホースを地元で購入している現状がある。本来は市が購入すべきではないか。

(回答:消防長)

消防団の設置、管理運営は市の責任。消防団活動に必要な物品、消防ホースなどは市が購入すべきもの。ホースなどの必要物品があれば、団から要望していただくと配布する。もし地区で負担しているようならそのことを伝えていただきたい。

各地区には、消防車が到着するまでの初期消火ために消火栓ボックス等を整備している。これは各地区の要望によって設置されているもので、導入時は100%補助、更新時は50%の補助と一部負担が生じているが、消防団設備ではないためご理解いただきたい。

質問:地域おこし協力隊について

(意見等)

今、狩江地区では4人の地域おこし協力隊が活動している。来年度新たなミッションを持つ地域おこし協力隊を任用したいと考えているが、各地区3人までしか受け入れできないと聞いた。地域に必要性があればこの制限は不要ではないか。

(回答:政策企画部長)

手上げ型交付金の申請状況とも一致する傾向だが、地域おこし協力隊の雇用人数が特定の地域づくり組織に偏るのは、地域づくり活動を推進する部署としては好ましいものではない。制度を見直し、令和6年度からは27地域全ての地域づくり組織が地域おこし協力隊を導入できるよう進めていく方針。

来年度からは1地域づくり組織につきまして、1人募集を原則とする。ただし、市が力を入れている農林漁業施策に関する協力隊の場合は3人を上限とする。

今回の見直しで重要視したことは、3年間の実績を地域づくり組織と協力隊で評価すること。協力隊の受入れ体制や新たな協力隊が定住できるかなどを市としても評価したい。そういった点も踏まえて、現在着任している隊員が自立できるめどが立ってから、新規隊の募集を始めることを原則とした。

質問:組織再編について

(意見等)

これまで、支所管理だった市有地に草が生えていたので、支所の担当者に対応するよう話したところ、今年から本庁の管理になったと言われた。本庁が総括になったとしても、支所との連携を図ってほしい。

(回答:総務部長)

今回の組織再編に伴い普通財産の所管は基本的には本庁になった。よって管理等は基本的には本庁で行うが、市有地の面積もかなり広いので、すぐに対応できないことはご理解いただきたい。

組織改編に伴い、基本的には本庁で内容を把握して対応するという事になった。支所と本庁で連携しながら、また、うまく機能しない部分については都度見直しをさせていただく。

(意見等)

なんでも本庁に言うのであれば支所の意味がなくなる。草引き程度なら支所でやったら良いのでは。

(回答:総務部長)

現場が一番わかっているのは支所だが、人数が減って負担も大きくなっている。まだどこまでを本庁が担当するのか詰め切れていない状況。今後協議を進めていく。

4 閉会のあいさつ

副市長

5 閉会